

【理工学研究科 データサイエンス専攻】ディプロマ・ポリシーに示された「力」とアセスメントの方法・指標

研究科専攻	課程	DPに示された「力」	アセスメントの方法・指標
データサイエンス専攻	M	DP1：データサイエンスを構成する種々の数理技術の特長を理解し、問題の性質に応じて、適切な数理技術を選択、もしくは、組み合わせることで、問題を合理的かつ効果的に解決することができる能力	データサイエンス専攻の基礎科目、専攻科目の成績評価により、問題解決能力を測定・評価する。
		DP2：社会の要求に照らして技術を評価し、必要性に応えた新たな価値を持つ数理的手法や技術を開発する能力	中間審査、修士論文等の審査、最終試験をとおして、新たな価値を持つ数理的手法や技術を開発する能力を測定・評価する。
		DP3：他分野の特徴を把握した上で、数理技術に対して要素技術として要求される役割を理解し、多様な技術を組み合わせることで新たな価値を持つ手法や技術を開発できる能力	選択する科目群の専攻科目、副専門領域科目、研究指導科目の成績評価により、他分野の技術を理解し、数理技術と組み合わせることで新たな技術を開発する能力を測定・評価する。
	D	DP1：データサイエンスを構成する数学的素養の上に、開発工程支援のための数理技術として位置づけてきたオペレーションズ・リサーチや統計学を人工知能技術の視点から見直して技術の統合を図ることで社会要請を踏まえた新たな数理技術を開発する能力	データサイエンス専攻の専攻科目および研究指導科目の成績評価により、技術の統合によって新たな数理技術を開発する能力を測定・評価する。
		DP2：数理技術の開発と実問題への適用に関する高度な教育を行うことで、自ら先導的に問題を設定し、開発した研究成果を組み合わせることで実問題に広く展開できる問題解決力	中間審査、博士論文の審査、最終試験をとおして、研究成果を組み合わせることで実問題に広く展開できる問題解決力を測定・評価する。

方法・指標	実施時期	対象年次	結果の活用	レベル※
授業評価アンケート	毎学期	修業年限内の 全年次生	専攻で実施し、アンケート結果を研究科 委員会で承認し、教育方法、研究環境の 改善に活用。内部質保証委員会からのメ タ評価と改善提案も同様に活用。	学位プログラム レベル/授業科 目レベル
研究倫理教育プログラム受講実 績	入学時（以降、3 年に1度）	初年次	研究推進課が実施し、受講実績を大学院 委員会および内部質保証委員会で報告し て、研究公正の実現に活用。	学位プログラム レベル/授業科 目レベル
学位論文計画書	所定の期日	修了年次生	研究指導の改善に活用。	授業科目レベル
学位論文	1月または7月	修了年次生	研究科で定める全専攻共通の学位論文審 査基準の達成度の評価に活用。	学位プログラム レベル/授業科 目レベル
修了者の就職先、進路状況、退 学者状況	修了時	修了年次生	就職先、進路、退学者の状況を把握し、 研究科で共有することにより、カリキュ ラムおよび研究環境についての自己点 検・評価・改善に活用。	学位プログラム レベル

※学位プログラムレベル：研究科専攻単位で実施 / 授業科目レベル：教員単位で実施

方法・指標	実施時期	対象年次	結果の活用	レベル※
研究倫理教育プログラム受講実績	入学時（以降、3年に1度）	初年次	研究推進課が実施し、受講実績を大学院委員会および内部質保証委員会で報告して、研究公正の実現に活用。	学位プログラムレベル／授業科目レベル
学位論文計画書	所定の期日	修了年次生	研究指導の改善に活用。	授業科目レベル
学位論文	1月または7月	修了年次生	研究科で定める全専攻共通の学位論文審査基準の達成度の評価に活用。	学位プログラムレベル／授業科目レベル

※学位プログラムレベル：研究科専攻単位で実施 / 授業科目レベル：教員単位で実施